

### 3・3 誌上发表論文抄録

#### ***Campylobacter jejuni*の分子疫学的解析の検討**

八尋 俊輔, 宮坂 次郎, 中島 龍一

厚生労働科学研究費補助金 新興再興感染症研究事業

広域における食品由来感染症を迅速に探知するために必要な情報に関する研究

(平成18年度総括・分担研究報告書)

*Campylobacter jejuni*のパルスフィールドゲル電気泳動法 (PFGE) による解析画像を, 異なる機関間で有効活用することを目的に, 新規マニュアルの作成およびreference株を用いた精度管理試験, 制限酵素の選択について九州地区4機関で検討を行った。その結果, *Campylobacter jejuni*のPFGEには, *SmaI*よりも*KpnI*または*SmaI+KpnI*を用いたほうが, バンドパターンの多形性の点で有効であることがわかった。

#### ***Vibrio vulnificus*の増菌培養時間の検討と平成18年度の季節消長**

##### ***Vibrio vulnificus*感染症発生にともなう原因食材からの菌分離と細菌学的検討**

宮坂 次郎, 八尋 俊輔, 中島 龍一

厚生労働科学研究費補助金 食品の安心・安全確保推進研究事業

細菌性食中毒の予防に関する研究

(平成18年度総括・分担研究報告書)

ビブリオ・バルニフィカスの検査法の研究では増菌培養時間を15時間以内とする方法が効率的であることを実験で示した。また, ビブリオ・バルニフィカス感染症発生にともなう原因食材からの菌分離を行い, 分離株と患者株遺伝子解析を行なった。

#### **掛け流し式温泉の温泉成分検査, 微生物実態調査, および施設の衛生管理状況についての調査**

自治体実態調査報告書

宮坂 次郎

厚生労働科学研究費補助金 地域健康危機管理研究事業

温泉の泉質等に対応した適切な衛生管理手法の開発に関する研究

(平成18年度総括・分担研究報告書)

複数県が関係するレジオネラ属菌感染症発生事例を経験し, 施設のレジオネラ属菌検索と同定を行うとともに分離株と患者株との遺伝子解析をPFGE及びRAPDによる泳動パターンの比較を行い検査時間短縮のためRAPDは有効であると思われた。また, レジオネラ属菌の検索では, 培養法の検討及びLAMP法との比較を行った結果, 両法を同時に行う必要があることが示唆された。

#### **熊本県における放射能調査**

緒方 和博, 北岡 宏道, 上野 一憲, 黒木 隆司, 木山 雅文\*

文部科学省: 第48回環境放射能調査研究成果発表会 平成18年12月5日 東京都

文部科学省委託として平成17年度に実施した環境放射能水準調査結果について報告した。降水, 大気浮遊じん, 降下物, 陸水 (蛇口水), 土壌, 精米, 茶, 牛乳, 野菜 (大根及びホウレン草), 日常食及び空間放射線量率について調査した結果, 環境試料中の放射能及び空間線量率ともに前年度と同程度のレベル内にあり, 特に異常値は認められなかった。

\* 現熊本県環境生活部水環境課